

## ⑨「善」と「悪」

2025/3/3 白子隆志

「善」と「悪」と聞くと何を思い出しますか？

僕の世代であれば、水戸黄門や大岡越前のような勧善懲悪のテレビドラマでしょうか？今の若い人にはあまりピンときませんが、スーパーマン、スパイダーマンなどのヒーローものでも必ず最後に善が勝つようにできていますよね。

ここは病院なんだから、もう少し医学的に話はないかと言えば、「善玉コレステロール」「悪玉コレステロール」や「善玉菌」「悪玉菌」などがあるでしょうか。

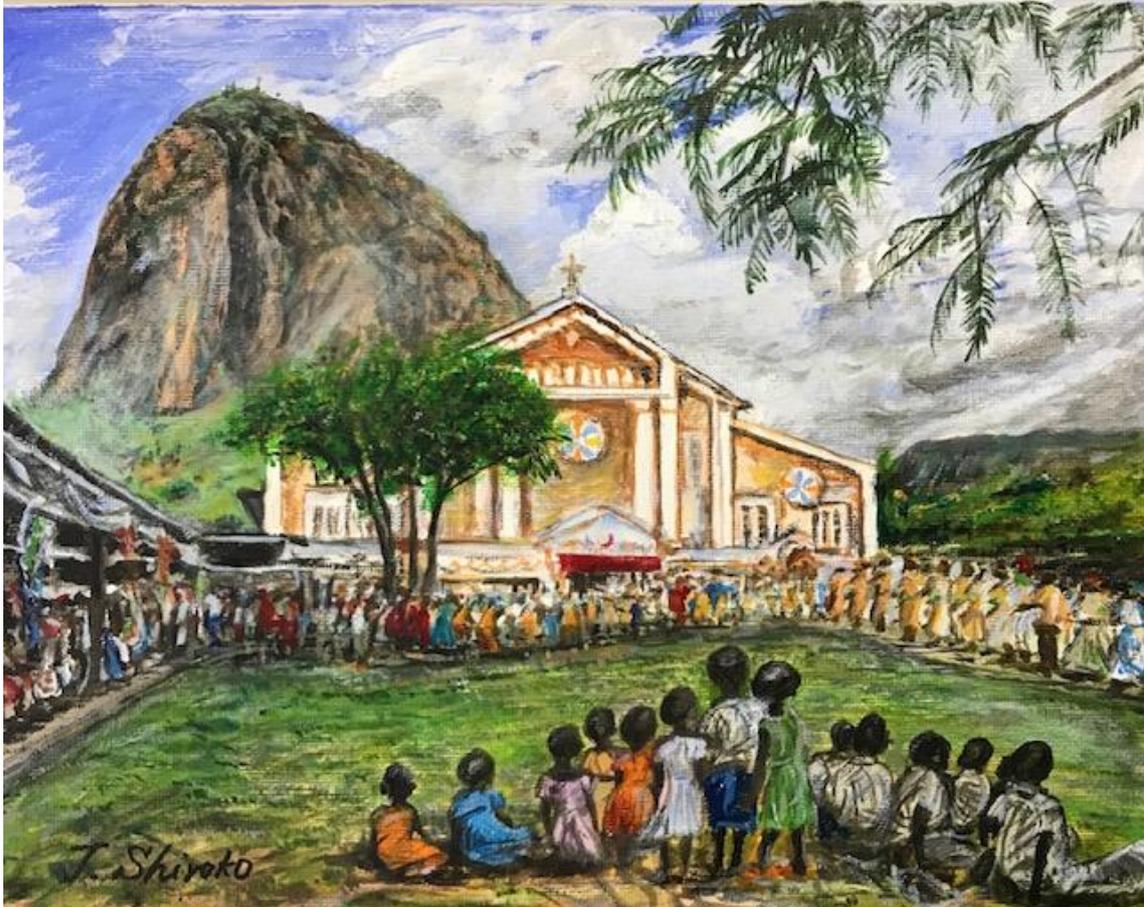
一般的にコレステロールは「悪玉コレステロール」といわれる LDL:Low Density Lipoprotein Cholesterol、と「善玉コレステロール」といわれる High Density Lipoprotein Cholesterol に分けられます。LDL-コレステロールには肝臓に蓄えられたコレステロールを全身へ運ぶ働きがあり、HDL-コレステロールには余分なコレステロールを全身から回収し、肝臓へ戻す働きがあります。HDL-コレステロールは動脈硬化を進行させないように働く一方で、LDL-コレステロールは増えすぎると血管壁にたまり、アテローム硬化というタイプの動脈硬化を進めることから、HDL-コレステロールは「善玉コレステロール」、LDL-コレステロールは「悪玉コレステロール」と呼ばれています。人間の体の中はうまくできていて、LDL もないと体に困るはずで LDL は悪いレッテルを貼られてかわいそうですよね。

「善人」と「悪人」にしても、「善人」でも心のどこかに「悪」を持っているはずですし、逆に「悪人」でも「善」の心がどこかにあるはずで、ここからは悪人で、ここからは善人なんていうふうにスケールで決めることはできないですよね。とかく最近は、「善」か「悪」か、「敵」か「味方」かというように白黒、裏表、甲乙をつけたがりますが、実際にはそんなに簡単ではないと思います。

そういう私自身も今は「善人」気取りでいますが、過去にさんざん悪いことをしてきたはずで、今思えば反省することばかりです。

我々が仕事をする時に、なんでも白黒つけるのではなく、少しグレイのところを残しておくことも必要だと思っています。病院の管理者のくせに呑気だと言われるかもしれませんが、「何とかなるさ」「ハクナマタタ(スワヒリ語)」「Tomorrow is another day(英語)」「ケセラセラ(フランス語)」も精神衛生上良いのかもしれない。相手のあら探しばかりをしないで相手をリスペクトしてみましよう。

さあ、眉間のしわを取って、肩の力を抜いて、ゆっくり生きてみませんか。



ウガンダ カロンゴ病院 キリスト教会のお祭

貧しい人々ばかりだけれども、我々よりもみな幸せそうに見えた  
お金や文化的な豊かさが幸せとは限らない  
今の日本人は、時代と共に「何か」を忘れてしまったのかもしれない